

環境調査結果のお知らせ

平成27年3月27日午前9時30分から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は12.1~16.8℃で、前回調査時(H27.2.9)と比較して全層で1.1~3.6℃上昇していました。塩分は14.9~32.2で、前回調査時と比較して表層と1m層で6.2~13.8低下し、2m層と底層で0.5~0.7上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.3~12.1mg/lで、前回と比べて1m層で2.8mg/l増加し、表層と2m層、底層で0.1~1.8mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.4mでした。

検鏡の結果、ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマに似た渦鞭毛藻が多数確認されました。

(ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは水温24℃~30℃、塩分21~34の環境条件で増殖し、二枚貝類を斃死させる有害種です。)

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.2.9)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	12.1	10.9	1.1
1m	15.2	11.6	3.6
2m	16.7	13.0	3.6
B-1	16.8	14.2	2.6

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.2.9)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	14.9	28.7	▲ 13.8
1m	23.3	29.5	▲ 6.2
2m	31.5	30.8	0.7
B-1	32.2	31.7	0.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.2.9)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	9.3	9.4	▲ 0.1
1m	12.1	9.3	2.8
2m	7.6	9.2	▲ 1.6
B-1	7.3	9.1	▲ 1.8

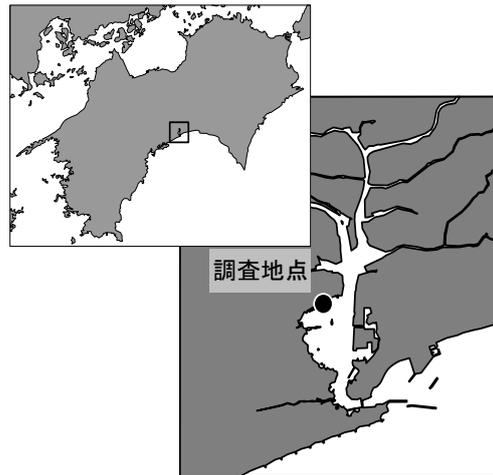


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.4	3.7
透明度	2.4	3.3

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ類似種	珪藻類		
0	775	110		
1	2,200	50		
2	2,400	130		

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ(貝類のへい死): 1,000cells/ml

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>